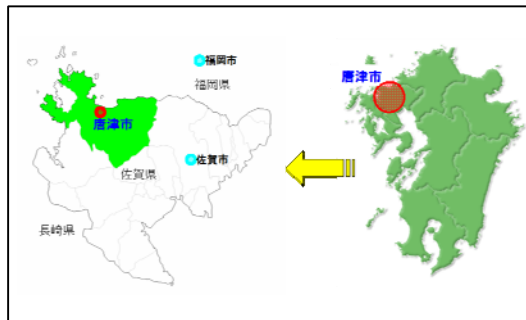


唐津市地域公共交通活性化協議会

平成22年3月3日設置

概要

唐津市の公共交通に関しては、市町村合併による広域化・少子高齢化及び過疎化の進行・市の財政支援の限界等、多くの問題が山積している。協議会において、真に市民に求められる「持続可能な公共交通機関」の確立を目指し、平成22年度において、将来の指標となる総合連携計画の策定を実施するもの。



唐津市の概要

平成17年1月に1市6町1村、平成18年1月に七山村を編入合併。面積487.45km²、人口約13万1千人。主要な交通機関としては、バス・離島航路・鉄道を有している。現在、昭和自動車(株)の大手口バスセンターが建替え中で、新バスセンターは平成23年度完成予定。

○地域公共交通の現況

- ・路線バス・乗合タクシー：昭和自動車(株)・昭和タクシー(株)が運行(26路線149系統のうち12路線が唐津市からの補助を受けている。)
- ・タクシー管内に9事業者(保有車両数230台)
- ・離島航路：管内の7離島に民間運営の各1航路が就航(国庫補助3航路、県単補助4航路)
- ・鉄道：JR筑肥線により福岡・伊万里方面へ接続、JR唐津線により佐賀方面へ接続

○地域公共交通の課題

- ・公共交通機関利用者の減少
- ・交通空白地帯への対策
- ・市の財政負担の増加
- ・補助金対象路線及び航路の経営基盤が不安定

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・交通事業者へのヒアリング調査
- ・利用者ニーズの把握

○地域公共交通総合連携計画の構想

- ・「持続可能な公共交通機関」の確立
- ・路線バスと離島航路の結節強化
- ・交通空白地帯への新たな支援策

